完成した皿を披露する生徒たち＝多治見市大畑町、多治見寿南店

「たじみそ焼きそば」に専用皿

うながっぱをデザイン

多治見工高生が製作

多治見市のご当地グルメ「たじみそ焼きそば」専用皿を多治見工業高（同市陶元町）の生徒が製作し、焼きそばメニューを提供している市内の飲食店に贈った。

専用皿は、たじみそ焼きそば研究所（佐藤円一郎所長）が一昨年度から同高セラミック科に依頼。これまで織部、黄瀬戸の皿を手掛けてきた。本年度は同科商品開発グループの5人が、天目釉（ゆう）の皿に市のマスコットキャラクター「うながっぱ」5種類を描き、計40枚を作った。

引き渡し式は同市大畑町の中華レストラン「多治見寿南店」で行い、生徒らは「食べていて楽しい皿にと、うながっぱをデザインした。納得いく作品ができた」と感想を話した。

専用皿は同研究会メンバーの東濃信用金庫の本店営業部（同市本町）1階ロビーで29日まで展示され、メニュー化している27の飲食店で来月から使用される。（高木俊徳）

無断複製・転載を禁じます